

今さら聞けない!?むし歯治療、基本の基本

～歯医者さんからのワンポイントアドバイス～

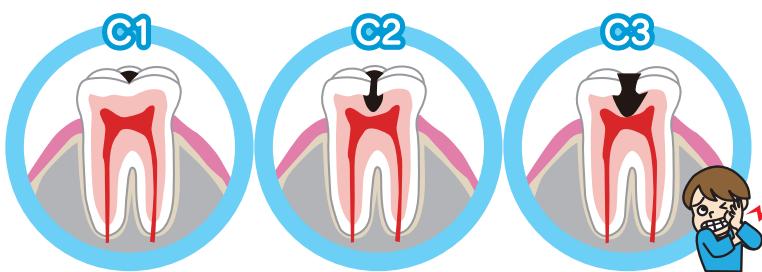
先日、会社の歯科検診で、むし歯があると指摘されました…。自分では気をつけていたつもりでしたが、そもそもむし歯は、どのようにしてできるのですか。

武蔵：むし歯のできかたは、すでに解説されています。まずは、あの硬い歯を溶かす原因は、ブラーク（歯垢）だということです。正確には、ブラークの中にいるたくさんの中のむし歯菌（ミュータンス菌）です。

山岡：そのブラークが歯の表面にくつつくと、ブラークの中にいるむし歯菌は食べ物に入っている「糖質」を工サにして『酸』を作ります。

柏木：この『酸』が歯の表面を溶かすのです。これが「むし歯」です。残念ながらこうして歯の表面にくつつくと、自然に治ることはできません。

武蔵：またブラークの量だけの問題ではなく、歯の強さ



初期

むし歯の進行度合い

末期

C1:エナメル質内に細菌が進入して穴が空いた状態。この時点では、まだ痛みを伴う自覚症状はほとんどありません。穴の状態が小さいうちに治療しましょう。

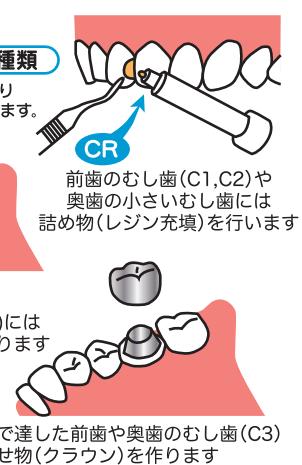
C2:象牙質まで細菌が進入した状態。むし歯は中で大きく広がります。甘いものや暖かいものがしみるようになると歯髄（神経）を取る可能性が高くなります。

C3:歯髄まで細菌が進入した状態。細菌が进入すると炎症を起こし激しい痛みを感じます。熱い食べ物や飲み物がしみてきて、ズキズキ痛み出します。

むし歯の進行度合いで、治療方法は変わってくるのですか？

も関係してきます。『細菌』、『糖質』、『歯』、『時間』の要素がすべて満たされるとむし歯になります。逆に、そのどちらが欠けると、予防できるということです。

むし歯治療の種類



歯医者さんで、歯の神経を取る・取らないってよく聞くのですが…

す。インレー や クラウンなどはセラミック や ゴールドなどの保険外診療を選択することも可能です。

山岡：はい、むし歯の治療の場合、感染している部分は全て取りきるというのが原則です。そこで問題になるのが、神経（歯髄）を取るかどうかという点です。

柏木：痛みやしみる、などの症状が強い場合や、明らかに神経まで達しているむし歯以外は、可能な限り神経を保存したいと考えています。

武蔵：神経があるのとないのとでは、どう違いがあるのですか？』というご質問を受けることが多いですが、非常に簡単に言うと、神経を取った歯といふのはもろくなったり、変色したり等の変化が生じます。活きてる貝と貝殻の関係に例えられることもありますね。

山岡：そのため、神経近くまで進行したむし歯の治療の場合、進行抑制の効果のある薬剤を使用して、神経を保存する治療を行うことがあります。ただし、前述のようにすべての患者さんに適応できる治療法ではないので、かかりつけの歯医者さんとよく相談していただければと思います。

柏木：むし歯の治療、と一口で言つても、考えなければならないことは意外に多いことがお分かりいただけたかと思います。予防が第一！というのは当然ですが、お口に違和感があれば早期の受診をおおすすめしますね。

なるほど、むし歯って何なのかながよく分かりました！やはり何事も予防が大事ということですね。3人の先生方、本日はどうもありがとうございました。

※歯の神経（歯髄）の保存療法は一部保険外診療となるものがあります。



Dental Doctors Profile

▶武蔵哲貞

医療法人 哲風会理事長
(むさしデンタルオフィス)④秋田市保戸野通町4-8 1F ☎018-853-8214
⑤http://www.musashi-dent.jp/
(ちづ歯科クリニック)④南秋田市八郎潟町川崎字屋敷233-1 ☎018-875-2801
⑤http://www.chizu-shika.com/

▶柏木 了

柏木歯科副院長
(柏木歯科)④秋田市広面土手下41-1 ☎018-832-9162
⑤http://www.kashiwagi-dental.com/

▶山岡 薫

CLOVER DENTAL院長
(CLOVER DENTAL)④秋田市千秋矢留町6-30 トーカンマンション千秋駒匠橋1F ☎018-836-0968
⑤http://www.cloverdental.com/